

教科目名 卒業研究 (Graduation Research)

学科名・学年 : 電気電子工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ◎科目)
 単位数など : 必修 9 単位 (前期 3 コマ, 後期 6 コマ, 授業時間 175.5 時間)
 担当教員 : 電気電子工学科 教員

授業の概要			
各教員から提示されたテーマを選択して研究課題とする。なお学生自らが希望するテーマがある場合は、担当教員と内容を十分相談の上、研究課題とすることもある。これまで学んだ知識・技術を基に研究を進め、調査能力、データ解析力、論理的思考能力、問題解決能力、討論能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、作文能力、自主学習能力などを総合的に身につける。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1)(D1), JABEE 目標(d2b)(d2c)(e)(f)(g)(h)	
(1) 社会的要求に端を発した研究の背景を理解し、問題を解決するための手段をデザインし、考えることができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読, 研究への取り組み)。 (2) 研究に関する知見を収集し、必要な実験・解析を行い、結果を考察することができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読)。 (3) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力, 文章表現能力を身に付け、他者との討論ができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読)。 (4) 研究に自主的かつ継続的に取り組むことができる (研究への取り組み)。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
4 月	1. ガイダンス, テーマ説明 2. 研究課題の決定	1. 「卒業研究の手引き」を参考にする。 2. 担任を中心に調整する。	【理解の度合い】
4-9 月	3. 研究(初期段階)	3. 卒業研究内容は就職面接や入試面接で決まって尋ねられるので、早急に研究の主旨を掴み、説明できるようにする。	
9-11 月	4. 研究(中期段階)	4. 本格的な研究に入る。	【理解の度合い】
10 月	5. 中間報告会(準備および発表)	5. 中間報告会は研究内容を他者に伝える技術を身につけることと、研究の方向性や方法についての他者からの助言や批判により、研究の内容を充実するために実施される。また、中間報告会の概要を英語で記述し提出すること。	
12-1 月	6. 研究(後期段階)	6. 後期中間試験後は最終的なデータまとめと論文作成に入る。	【理解の度合い】
1 月末	7. 卒業論文およびその概要提出 8. 卒業研究審査(準備)	7. 指定された期日までに必ず提出すること。 8. プレゼンテーションの準備をする。	
2 月	9. 卒業研究審査会	9. 最終的な試問による審査を行う。	【理解の度合い】
履修上の注意	各時間の始まりに HR において担任が出欠をとる。研究課題は年度最初のガイダンスで研究テーマの説明を受けて決定する。卒研着手後は、担当教員と相談しながら、各個人が主体的に取り組むこと。また、担当教員に進捗報告や内容確認を定期的に行うこと。日々の取り組み内容は所定の指導記録用紙に記入すること。		【総合達成度】
教科書	大分高専電気電子工学科, 「卒業研究の手引き」		
参考図書	担当教員と相談しながら、各自で探す。		
自学上の注意	自ら考え、自ら実行し、頻繁に担当教員とディスカッションを行うこと。		
関連科目	地域日本文学, 英語, 工学実験Ⅲ, プロジェクト実験Ⅰ(専攻科), プロジェクト演習Ⅳ(専攻科), 特別研究Ⅰ(専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読および日頃の研究への取り組みで評価する。 総合評価は、主査による中間報告会の評価, 主査と副査による卒業研究審査会の評価, 主査による論文査読の評価, 主査による研究への取り組みの評価がすべて合格(60点以上)である場合に、合格とする。 不合格者には再審査を行う。		【総合評価】 点